

平成28年美濃加茂市教育委員会 9月定例会 会議録

1 開会日時及び場所

平成28年9月29日(木) 午後1時30分から午後3時55分まで
美濃加茂市役所分庁舎4階 第1会議室

2 出席者

(教育委員)

委員長 渡邊 須美樹

委員 矢島 良子

委員 安江 ちか子

委員 鹿野 久美子

委員 高野 光泰

教育長 日比野 安平

(事務局)

事務局長 可児 靖教

学校教育課長 古川 一男

教育総務課課長補佐 長谷川 壮重

3 開会 午後1時30分

4 議事日程等

(1) 委員長あいさつ

(2) 教育長報告

(3) 5月定例会議の会議録の承認について

(4) 議事

議第1号 平成27年度美濃加茂市教育委員会事務の点検・評価について

(5) 協議・報告事項

① 平成28年度教育委員視察研修について

② 平成28年度岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会について

(6) その他

会 議 録

(1) 委員長あいさつ

渡邊委員長

※委員長から開会のあいさつ

(2) 教育長報告

日比野教育長

※教育長からの報告

- ・台風のため、給食の手配が大わらわであった。連休とも重なったため、その前に給食をどうするか判断しなければならなかった。
- ・可茂特別支援学校の運動会も雨の影響で延期された。学校が急遽休校になり、給食は他の学校で食べてもらった。
- ・市議会第3回定例会にて、新教育委員会制度での教育長として選任されました。よろしくお願いします。
- ・市議会では小規模特認校制度について質問があった。スクールバスは運行せず親の送迎をお願いすること、在校生でも転入可能であること、不登校気味の児童が活用すれば登校できるようになる可能性があること、良かったという噂が広がることを期待していることなどを説明した。
- ・市議会にて教育委員に教員OBがいないことに関する質問があった。教育専門家以外の方になっていただきたいとの市長の思いもある。
- ・のぞみ教室の環境改善について文部科学省を訪問し相談した。
- ・給食費の無料化などの話があるが、要保護者・準要保護者へは援助をしており、支払える人には受益者負担として払ってもらいたい。
- ・国体に出場する選手の表敬訪問を受けた。高校生の他、井戸アビゲイルさんも出場する。
- ・全国学力状況調査の結果について資料をお配りする（後に回収）。各学校は、結果を反省材料にして活用してもらいたい。分析結果はホームページ上で公開してある。世界中が注目している大事なテストであると認識している。

(3) 5月定例会議の会議録の承認について

可児事務局長

それでは、5月の定例会議の会議録の承認についてよろしくお願いします。

| | |
|---------|---|
| 渡邊委員長 | 5月定例会の会議録ですが、事前に事務局に提出された意見等はありませんか。 |
| 長谷川課長補佐 | ※意見等無いことを説明。 |
| 渡邊委員長 | よろしいでしょうか。では、ご意見もないようですので承認ということでよろしくをお願いします。 |

(4) 議事

議第1号 平成27年度美濃加茂市教育委員会事務の点検・評価について

| | |
|--------|---|
| 渡邊委員長 | <p>では議事に入ります。</p> <p>議第1号、平成27年度美濃加茂市教育委員会事務の点検・評価について、事務局の説明をお願いします。</p> |
| 可児事務局長 | <p>8月の定例会にてお配りしました事務局での一次評価に対し、委員さん方から評価をいただき、二次評価として集計したものを本日配布しております。</p> <p>本日はこの資料に沿って、1項目めから順に教育委員会としての最終評価をA B C Dで決めていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>まず1番の「教育委員会運営事業」ですが、鹿野委員さん以外は皆さんAですが。</p> |
| 鹿野委員 | <p>教育委員に就任して数カ月分だけの評価ですので、皆さんの評価にしていただければ結構です。</p> |
| 日比野教育長 | <p>就任いただいてすぐに全体を把握するのは大変であり、ご無理を言っている部分もあります。よろしいですか。</p> |
| 鹿野委員 | <p>よろしいです。</p> |
| 可児事務局長 | <p>それでは、委員長さんに進行をお任せしますので、委員の皆さままで決定していただきますようお願いいたします。</p> |
| 渡邊委員長 | <p>はい、分かりました。では1番の「教育委員会運営事業」はA評価でお願いします。</p> <p>次に2番目の「学校規模適正化事業」は皆さんBですがよろしいでしょうか。(特に意見なし。)</p> <p>では、Bといたします。</p> |

次に3番目「学校施設の適切な維持管理事業」です。これも皆さんBということですので、皆さんの評価が揃っている事業についてはその評価としますが、もしその都度ご意見等がありましたらおっしゃってください。

7番目の「放課後児童健全育成事業の民間委託事業」についてですが、私と鹿野委員、教育長がBです。シダックス大新東ヒューマンサービスに継続して委託することになったのですが、プロポーザルで他の業者でも良かったかなと思ひまして。単に継続するのではなく、新しいものが参入すると良かったかなと思ひました。

矢島委員

以前は3年でしたが、それが5年という契約になったのはどうしてでしょうか。

可児事務局長

最初は市が直営でやっていたものを民間委託するというので、始めは3年間として評価をし、その結果で民間委託を続けるかどうかの判断をするということです。そしてやはり民間のノウハウを活用していくということになり、5年間契約とすることとしました。委託先の選考については選考委員会によりプロポーザル方式にて評価し、シダックス大新東ヒューマンサービスに決定されました。

安江委員

今後も5年間ごとにとということですか。

可児事務局長

5年目の最終年度に5年間の評価をしまして、再度民間委託を継続するか否かについて検討します。5年間が良いのか3年間が良いのかも検討します。期間を短くして再評価ということもありますが、民間業者としましては、短期間で交代になってしまうと培われたノウハウが無くなってしまいますし、長期での契約のほうが人材の確保もしやすいということで、事業としては5年間程度が適当かとの考えもありますが、その時に検討することとなります。

安江委員

分かりました。

渡邊委員長

鹿野委員、いかがですか。

鹿野委員

5年間ですと1年生が5年生になっているわけですから長いなとは思いますが、学童保育のあり方も難しいと思います。学童保育に携わっている知人の話では、なかなか大変だと聞きました。

矢島委員

目標を高く設定すれば評価は悪くなるし、低ければOKとなる。判断の基準が分かり難いです。

渡邊委員長

確かに評価することは難しいですが、私たち教育委員としては、それぞれが違った立場から事業を評価して、皆さんの意見をうかがいながら最終評価を出していくという形を取っていますので、皆さんの意見が同じでなくても良いのです。

日比野教育長

私でも事務局の評価とは異なっています。

民営化については最初から携わっていますけれど、直営の頃は人材不足というのがありました。全国的に展開している企業ですから、人手が足りなくなると他県からでも連れてきて配置してもらえます。また、英語の指導者を派遣して英語体験をしたこともありました。

全国的には児童の数が減ってきているところを、美濃加茂市は増えていますので、学童保育の運営は難しいところがあります。

ただ、事務局を通じてお願いしているのは、ケガなどをした時の対応についてですが、学校内で学童を行っているため、何かあるとすぐに教師を頼る。教師は対応しますが、学童は学童として体制を整えてほしい。この点はぜひ改善してもらいたい。

安江委員

私はA評価にしました。一昨年、山手小学校での学童保育を見学させてもらいましたが、本当に大変だなと思いました。直営の頃からの先生方が民間委託後も続けてくださって、よくやっていたと思っています。

教育長が言われた安全安心の面では学校に頼ったりという改善点はありますが、また一度見学させていただければ様子も分かると思います。

これだけやっても待機児童が発生するほどに利用希望がたくさんある中で、事業を推進しているのはありがたいことと思います。

鹿野委員

このような会社は、県内ではどのくらいあるのですか。

可児事務局長

県内にはありません。民間委託当初の頃から県外の会社がプロポーザルに参加しています。

学童の先生が急に休んだりした時に他から人を回すことが出来る体力が大きい企業となると、やはり大手ということになります。

日比野教育長

実際に3人程が一度に辞められたことがありますが、すぐに先生が見つかりました。

渡邊委員長

それでは、どうしましょう。A評価ということでよろしいでしょうか。(異議等なし)

それではAとします。

次に「給食センター(給食費徴収)」については、意見が分かれてお

| | |
|--------|---|
| | ります。 |
| 鹿野委員 | 徴収率の状況を見ますといいのかなという感じがして厳しい評価になりました。 |
| 日比野教育長 | 滞納者がいるということがいけないとお思いのことでしょうか。 |
| 渡邊委員長 | 私はB評価にしました。これは、現年度分が99.6%とほぼ100%徴収している。しかし過年度分については徴収率が悪くなっていることについて評価をした結果です。給食費を徴収しようにも卒業してから何年も経っている子どもの分もあるため、そもそも徴収の方法を考えてもらいたいという意味でB評価としました。 |
| 鹿野委員 | 現年度分の徴収率は良いですね。 |
| 日比野教育長 | 過年度分については、5年も10年も経ったような人は払わない。しかし、滞納になっても年数が経ってない人の場合は、結構払ってくれているように思いますので、徴収できなくなっている古い未納分をいつまでも引きずっているわけです。 |
| 可児事務局長 | <p>給食費を公会計ということで市の一般会計にしたのですが、現年度分については学校にお願いしている点は変わりません。しかし、学校で頑張って支払うように話しても一向に払ってもらえないという人や本当に困窮している人もいます。生活困窮である準要保護の方については給食費を市が補助しますが、準要保護に該当しないギリギリの方などの場合は、給食費の支払いの優先順位が低く、払わずにずっと来てしまっています。過年度分の滞納者には「払えない」というよりも「払わない」という意思をお持ちとか、滞納者の半分ほどが外国籍の人であったり、更には転出されてしまうと追えないということもありまして、税金とは異なり、民と民との契約と同じ扱いですので、追跡するのも裁判所をお願いするしかありません。</p> <p>そのため、市では弁護士と契約もしておりますので、今後はちょっと強めに徴収をしていこうと思います。滞納額の徴収を弁護士に委託している自治体もあるようですので、弁護士から催告書を送るなどすれば、裁判になる前に払うようになるとのことですし、そこまで市がやるのかということで、現年度がほぼ100%になったりして、給食費を払わなくても学校を卒業してしまえば逃げ切れるような時代ではないということを示すことによって、先ほど委員長がおっしゃったように卒業するまでには全部お金を払うようにするというような形にしていきたいと考えています。</p> |

| | |
|----------|---|
| 鹿野委員 | 裁判の費用の方が高かついたりしませんか。 |
| 可児事務局長 | 給食費は少額ですので、それほど高くはないです。裁判所の事務官が取り立てたりすれば高くなりますが、少額訴訟と言って安い金銭のもので債務者に命令する場合は、経費はそれほどかかりません。 |
| 日比野教育長 | 子どもには責任はありません。親の問題ですからね。生活の苦しい子には市としてかなり手厚く支援をしています。ご家庭の出費の中で給食費は優先順位が低い家庭がある。車のローンや他の出費のほうに回ってしまう。 |
| 渡邊委員長 | 事務局の一時評価はCですので、もう少し考えて頑張ってくださいということで、Cとしてよろしいでしょうか。(異議なし) 来年度はBになることを期待します。 次の「給食センター食育事業」ですが、私だけがBにしています。その理由は、ある雑誌を読んだときに、全国では家畜のえさのような給食を出しているところもあれば、地元の食材を使って昔からの伝統料理を給食に取り込みながら地域愛を育て、子ども達に伝えようと食育を一生懸命やっているところもあります。美濃加茂市も月に1回地元の食材を入れた献立をしています。1回と言わずもう少し回数を増やしていただければと思ったからです。評価としては、Aで結構です。 続きまして、学校教育課の事業のほうに進みます。 まず、「外国人児童生徒就学促進事業」ですが、鹿野委員と教育長がB評価です。 |
| 鹿野委員 | 見せていただきまして、一生懸命やっていただいております。判断が難しいですね。 |
| 日比野教育長 | のぞみ教室の指導者は本当に一生懸命やっています。けれども、場所の問題で待機が出たりしましたので、今年はいよいよ文部科学省へ相談に行ってきたわけなのです。決して今の取組や担当している職員が良くないとかではなく、全体を見た時に何か手は無いかなどという思いだけです。教育委員会としての評価はAで良いです。 |
| 渡邊委員長 | 続いて「学習活動支援事業」では、矢島委員がAの評価をされています。 |
| 矢島委員 | 支援員が56名になって、前年より3名増員されているので良くなっているのかなと思いましたが。 |
| 古川学校教育課長 | 新たに支援員を充てたところは学校や児童生徒の実態に合わせて対 |

応していくことができるということで、人数の拡充について市当局へ要望した結果として表れていると思います。特に食物アレルギー対応の必要性が増してきていますので、人員を増やしていただきました。

鹿野委員

食物アレルギー対応支援員はどんなことをするのですか。

古川学校教育課長

まずは年度が始まる前に、どの子がどういう食物アレルギーでどんな対応が必要なのか調査をし、その結果を踏まえて、特に給食の時間に特に低学年の子が中心にはなりますが、子ども自身で判断出来ないようなメニューが出てきたりしていないか、食べたりしないか見守っています。

また、給食以外の時間は支援として教室に入っております。

鹿野委員

その対応に人員を充実させたということでしょうが、とても至れり尽くせりで、昔であれば考えられなかったことです。一人ひとりへの対応は本当に大変です。

日比野教育長

私は以前にアレルギーについて調べたことがあって、アレルゲンは身近に300種くらいは存在していて、それら全てに対して給食を対応させていくことは無理です。学校給食センターにはアレルギー対応の部屋がありますが、1種類対応しても駄目なのです。牛乳、大豆、小麦など、他にもアレルゲンは沢山あるわけですから、対応がしきれない。ですから、5年生以上になったら児童が自分で判断できるようにしておかないといけないと思うわけです。アレルギー対応の支援員は、小さい子が誤って食べてしまわないようにするために配置されているわけです。アレルギー対応は、神経を使いますし大変です。

鹿野委員

アレルギーを軽くしていく方法はいろいろとされていますけれど、各家庭でも早いうちから取り組んでいただけると良いのですが。

日比野教育長

保護者の中にはすごい方がみえまして、給食の献立が出されると、アレルギーの材料についても表記してありますから、それを見て、プリンなら牛乳を使わないプリンをお家で作って子どもに持たせてあげる家庭もあるのです。大した親御さんだと思います。

安江委員

ピーナッツなどは匂いや見ただけで反応が出るような小さい子もいるようです。

日比野教育長

調理する人、運ぶ人、配膳する人、それぞれ人が変わりますから、どこで手を抜いても大変なことが起こる恐れがありますので。

渡邊委員長

それでは、この評価はBということによろしいでしょうか。（異議なし）

次の「英語教育推進事業」ですが、意見が分かれています。

私はBにしましたが、理由としましては、確かに小学校も中学校も英語に力を入れていただいている、先生方も上手にコミュニケーションを取りながら英語をやっているんですが、本当に一番大切なのは、外国人の方と会話ができ理解ができるコミュニケーションが取れるということかと思うのです。文法や難しいことを習っているのですが、今の英語が果たして本当にA評価で良いのか、もう少し他の要素を取り入れながら指導していただきたいと、まだまだ変えられるのではないですかという意味です。

矢島委員

先ほどの支援員の話ではないですが、3名で行う範囲が広がるわけですから、本当に3名で大丈夫なのか、どう対応できるのか、まだ十分ではないような気がしましたので私も判定をBにしました。

安江委員

MET（外国人英語指導講師）は3名ですが、EAS（日本人英語指導講師）の方もみえますし、東中学校校下から始まり、今年度から西中学校校下へと他の市町村よりも早く取り組んでいただいているので嬉しく思います。東京ではオリンピックに向けての取組をされているかと思いますが、美濃加茂市は頑張っていますので、Aにしました。

高野委員

英語教育に関してはこれからグローバルな世の中になってきますので、例えば大学入試では英語の配点が非常に高いですが、入試のための英語力とコミュニケーションができる英語力とでは後者の方が流暢に英語を話すわけで、とても大切です。日常の生活の中では会話が必要だということです。

学力というのは5教科9科目あってその中で人間性を育むという大事な目的がある訳ですから、私自信は今美濃加茂市としては一生懸命取り組んでいるのではないかと思いますA評価にしました。

日比野教育長

下米田小学校で始めた小学校英語指導方法についての研究が、東中学校区に広がり、西中学校区にまで広がって全市になったのです。本来であれば文部科学省が認めたカリキュラムに沿って行わなければいけないところを、英語力を付けたいからと教育課程を変更できる英語教育課程特例校というものを全市に広げたのです。県下では大垣市、岐阜市と美濃加茂市だけなのです。

それとは別に英語イノベーション事業もあります。東中学校が中心となって取り組んでいる英語イノベーションや、山之上小学校では、スカイプを使ってダボ市の小学生と交流をしました。そういった他に

は無い英語の指導を美濃加茂市は一生懸命やっています。

渡邊委員長

ではこの事業はAということにします。

次に、「フロム0歳プラン推進事業」ですが、私がCを付けました。他の市には無い素晴らしい事業なのですが、危惧してるのは、特色ある学校を作りましょうという一番の目標があるのですが、何か校長先生のやりたいことに流されているような気がします。校外研修でのバス代などに補てんするというのもあると思うんですが、美濃加茂市という狭い市で市街地から中山間地までに学校がありますので、それぞれの学校の地域性をもう少し掘り下げていけるような事業になると、小規模特認校も同様ですが、「あそこの学校へ行くところという勉強ができるよ、こういう研究ができるよ」ということで交流が起きるとか、もう4年が経ちますので、そういうことが起こっている時期になっているべきかと思えます。4年目になってきて校長先生もいろいろ情報交換などをして、どういうふうを実施していこうかと悩んでみえたり、こういうふうにやろうと計画してみえたりすると思いますが、やはり校長先生の思いも確かに大事なのですが、地域の特色ある学校づくりということで、もう少し絞り込んでいくように教育委員会として指導しながら進めていけるようになると非常に良いのではないかということを考えて、BかCかで、Cにしました。

矢島委員

私も、何か「予算が付いているので消化しなければならない」というような感じも多少したことがあります。先程委員長が言われた校長先生のやりたいこと、せっきくの取組であっても、何か「そういうことではないんじゃないかな」と思うことがありました。

安江委員

私は逆に校長先生がご自分で判断して、学校経営は校長先生によって変わるものだなと思えました。三和小学校の取組を見せていただいて、たまたま伊深小学校が進んで取り組んでいたことと同じようなことでしたが、「児童数がより少ない三和小学校で子どもたちがこんなことが出来るようになったんだ」「素晴らしいな、これがF-Oの成果かな」と思いました。来月には学校からの中間報告でバス代になったりする学校もありますけど、どこの学校でも半分ぐらいは校区ごとにある程度基本方針のようなものを持ってみえます。また、中学校校区の特色のように感じました。昨年度は特にそれが見えましたのでAを付けさせていただきます。B評価としてもよろしいですが。

高野委員

私は山手小学校で今評議員をしておりますが、校長先生が非常に前向きにそして熱心に、夏休みを利用して取り組んでみえました。良い意味での山手小学校カラーを作ってくださっていると思っております。

日比野教育長

校長先生方が楽しみにして一生懸命取り組んでいただいている学校も多いです。各学校へ平均100万円の予算を付けてもらっているのは県下では美濃加茂市だけしかありません。この事業もこれで4年目に入りましたが、事業が始まった頃とは校長先生が異動されているので、最初の有り難さが伝わっていかないと思って私から確認をすることもあります。しかし予算が付いてきますとそれだけの計画を立てて進めていかないとはいけませんので、現場としては大変かもしれません。それでも予算を有効に活用できますから、途中で修正してもらっても良いわけです。学校間で調整してもらっても良いのです。予算の繰越はできませんが、中間発表をすることで、その後微調整が出来るように柔軟性を持たせて、自分の学校の取組をより良くしてもらえると有り難いと思っています。そういった努力が見られる学校がほとんどですが、そうではないところも無いわけではないので、やむを得ずBとしました。

渡邊委員長

これらのF-O推進事業というのは校長先生の思いが強く反映されていると思います。しかし、校長先生が異動された後でその取組が引き継がれて行けばいいのですが、先生が替わったら方針が変わってしまうのもいかなものかと思しますので、取り組む内容は地域に根差したものであれば良いと思います。この施策も3、4年を経て良い事業だと思いますので、それを上手く伸ばしていけるように美濃加茂にはそういう特色があって各学校でいろんな特色ある勉強ができるということが広がっていくように今後とも取り組んでいただきたいと思います。

それではBという評価でよろしいでしょうか。安江委員さんもよろしいでしょうか。

安江委員

はい、よろしいです。

渡邊委員長

それでは最終評価はBということにします。

次に「学外講師派遣推進事業」については、鹿野委員がBとしていますが。

鹿野委員

すごく良い事業だと思うのですが、予算の枠で実施できない計画が出てきているということのようです。お金をかけないでできる方法を考えられないかと思いました。ただ、限られた予算の中で取り組んでいただけていますので、A評価でよろしいです。

渡邊委員長

それではこの事業についてはAとします。

次に「不登校対策事業」です。教育相談とあじさい教室の運営の2項目で評価をしていますが、昨年度もそうですが、不登校の児童生徒

が増えてきているという実態がありますので、A評価にはできないかと思いましたが、対策だとか様々な施策を仕掛けているのであればそれらに対する成果が出ないのは改善の余地があるということで、B評価としました。

日比野教育長

不登校の児童生徒は、確かに当市は多いです。人数の拾い方ということもあるのですが、不登校があるということは良くないため、いろいろと手を尽くさなければなりません。不登校の原因として理由もいろいろですが、やはり一人親世帯の子どもが不登校である比率が高いという相関性があるようです。一生懸命やっておられる親御さんは多いですが、他市町村でも10%程度で当市と変わりはありません。

いろいろな親の元で子どもは育つ中、学校で預かっている以上、何とかしなければいけないという責任を感じてやっています。教育センターが学校に出向くなど前向きに動いておりますが、もう少し不登校の人数が減っていかないといけないと反省しています。

安江委員

毎月の教育委員会定例会の中で中島次長から教育相談や学校訪問の取組についての報告を聞き、よくやってみえると思います。

渡邊委員長

一生懸命やられているのですが、結果が出て来ないということで、家庭環境や社会環境などもあり、今教育長が言われたような原因に対しても手を打っていくことで少しでも人数が減っていけば良いと思います。

では、この事業につきましてはAといたします。

日比野教育長

補足ではありますが、今年度は西中学校が国の指定を受けて不登校に対する取組を行っています。県下では3校です。親への働きかけが良くなってきています。生徒に対しておにぎりの作り方や副食の調理指導などを行っています。そこに親にも来てもらって親子に指導をしているのです。そうすると親さんが、学校の取組に驚かれます。

教育センターでは家庭菜園をして、家に野菜を持ち帰らせたり、親も巻き込んでお弁当の作り方の指導もしていますから、これらの取組には期待をしています。

しかし、教育センターに来ない子たちもいますので、もっとこちらから切り込んで行って欲しいと思っています。そして一人ひとりのカルテのような記録を作成し、学校と連携を取りながら不登校を未然に防いだりすぐに対応ができるようにしておくが良いと思います。

安江委員

家庭訪問などはどこの家でもできるのでしょうか。

日比野教育長

家庭訪問に来て欲しくない家もあります。余計なお世話だとか、家

| | |
|----------|--|
| | <p>の中が散らかっているからだとか、いろいろ理由があります。</p> |
| 渡邊委員長 | <p>次に進みます。「教職員研修事業」についてはいかがでしょうか。</p> |
| 安江委員 | <p>本当によくやっていたいただいていると思います。</p> |
| 日比野教育長 | <p>私は小学校の先生方を対象に理科の実験をやりましたら、先生方には大変喜んでもらえました。来ていただいた先生方は一生懸命でした。自分に力を付けたい、現場で活かしたいとの気持ちが強く伝わってきました。</p> |
| 安江委員 | <p>理科の実験で事故が起きたりすることがありますので、そういう指導をしていただくことは有り難いです。</p> |
| 矢島委員 | <p>これらの研修は強制ではなく自主的に研修を受けられているのですか。</p> |
| 古川学校教育課長 | <p>全員が参加するものもありますし、希望者のみの研修もあります。初任者研修や2年目研修、教務主任研修会などは悉皆となります。</p> |
| 渡邊委員長 | <p>建築士の免許は以前は一度取ったら更新しなくても良かったのが、今は3年ごとに講習を受けて試験に合格しないと取り上げられてしまいます。教員免許はそのようなことはないのですか。</p> <p>やはり先生方も躰や道徳的な感覚などの点でいろいろな育ち方をしているということもありますし、指導の面でも初任者研修や2年目研修などをやってみえますが、プラスアルファで研鑽を積まれることで時代に合った求められる先生が育成されて来るのではないかと思います。一生懸命研修を開催していただいておりますが、もう少し他分野での研修というのも盛り込んでいただくと更に充実したものになるのではないかと思います、Bの評価にしました。</p> <p>他にはご意見はよろしいですか。(意見等なし)</p> <p>それでは、この事業はBとします。</p> <p>そして最後の「教育研究事業」は、皆さんBですので、B評価といたします。</p> <p>以上、配布資料3ページに亘って評価をしましたが、やはり教育委員皆さんの視点で見ていただき、そのご意見を今後の施策に反映させていきたいですし、学校だけでなく街中で見かけた子どもたちの姿も日頃の教育の結果の表れでありますので、しっかり見ていただいて、来年度以降も厳しく評価をしていただきたいと思います。</p> |
| 日比野教育長 | <p>最後に一つだけ補足です。「教育研究事業」の中で社会科副読本を編</p> |

| | |
|--------|--|
| | 集しておりまして、5年に1回改訂しています。美濃加茂市については、坪内逍遙先生や津田左右吉博士について書かれていますが、自然科学系ということで岸義人先生についても載せてもらいました。文化功労者でノーベル賞の候補にも挙がるなど、美濃加茂市にもそういう方がいらっしゃるということを知ってもらいたいと思います。 |
| 渡邊委員長 | それでは議題の方は以上にしまして、次の協議・報告事項をお願いします。 |
| 可児事務局長 | ありがとうございました。今ご決定いただきました評価につきましては、決裁を受けた後、教育委員さんにも送らせていただきます。また、議会への報告とホームページでの公表もさせていただきます。 |

(5) 協議・報告事項

① 平成28年度教育委員視察研修について

| | |
|--------|---|
| 可児事務局長 | <p>※平成28年度教育委員視察研修会の視察先について、訪問先等との調整結果について説明</p> <p>※日程を10月18日(火)・19日(水)の2日間、訪問先を豊田工業学園、豊田市立西保見小学校、豊田市立則定小学校に決定</p> |
|--------|---|

② 平成28年度岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会について

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 可児事務局長 | ※平成28年度岐阜県市町村教育委員会連合会研究総会の日程等について説明 |
|--------|-------------------------------------|

(6) その他

| | |
|--------|---|
| 渡邊委員長 | それでは、その他ございましたらお願いします。 |
| 可児事務局長 | <p>※山手小学校増築工事の起工式の日程等について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月21日(金) 午前11時から <p>※教育委員会10月定例会の日程調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月18日(火) 午前10時30分から <p>※教育委員会11月定例会の日程調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月14日(月) 午後1時30分から |

古川学校教育課長

※教育センター「あじさい便り」配布

※11月の行事予定について説明

- ・10日 公表会（西中学校）
- ・24日 地域教育連絡協議会研修総会

渡邊委員長

それでは9月の定例会を終了いたします。ありがとうございました。

閉会 午後3時55分